

第51回「青嵐」「蠅」または自由

6点句

青あらし草の背揃え川渡る 惑星

特選 鮭航太

並選 日曜・トホ・井沢軽・光則

特選

強風が背丈さまさま草を左右に揺らせることで、草が同じ高さになっている。風は草を揺らしながら、川のむこうに消えてゆく。かっこいいな。

(鮭航太)

並選

よく写生しているなあと感心しきり

(日曜)

宮崎駿の絵が浮かびました

(トホ)

じわじわいい句。風そのものを主語にして、人間の関与しない自然の営みを感じさせてる。

(井沢軽)

ザザザッと音が聞こえるよう

(光則)

5点句

一色の浜撫で回す蠅の王 井沢軽

特選 夜桃・ナッツ

並選 子牛

特選

「美しいけどとても哀しい」みたいな

ギャップのある句はよくみるけど、コレは「美しいけどなんか情けない」かんじがおもしろい。「なんか美しい浜辺だなあ↓王なのか？ カッコいいやん↓なんや？ でもお前はただのちっこいハエやん？ ↓キモいやつやな↓でも浜辺はきれいだなあ」を繰り返し、読むたびにじわじわ来る。

(夜桃)

撫で回す、のがすごい。

しかも蠅の王。

モノトーンの浜も、

小説をおもいだすけど。

緑や銀のどっかい奴が、

王が盃をくるくるするみたく

なにかを手玉に取っている。

少年なのか、陽射しなのか。

(ナッツ)

並選

ミクロとマクロのスケール感が宇宙を感じさせる。童話の始まりのよう。

(子牛)

青嵐すでに墓前に花のあり 鮭航太

特選 トホ

並選 一天・熊猫山・光則

予選 井沢軽

特選

墓参りの先客が、風と共にさりぬっていう美しい句だなあと思います

(トホ)

並選

シチュエーションはわかりませんが、心に騒ぐものを感じます。

(一天)

御墓参りに行って、既に誰かが花を活けてくれている、何かホッとする句です。

(熊猫山)

ご友人の墓前でしょうか、ひとのたくさん集まるお墓に生前のお人柄が偲ばれてとても良い情景だと感じました。

(光則)

予選

あるある。同じタイミングで故人を偲ぶ同志の存在に気づく。季語が待つ若々しさに前向きな印象。

(井沢軽)

3点句

光射し蠅の音だけ響く午後 トホ

並選 井沢軽・一天・熊猫山

並選

姿の見えない蠅に初夏を感じた。日差し
の感じからすると、午後より午前の方が自
分には印象が近い。
(井沢軽)

午後静けさを感じます。
(一天)

こういう日ありましたね、今年もやってき
ます。
猛暑を想像しました。
(熊猫山)

青嵐の空垣間見ゆ枝分けて 子牛

特選 光則
並選 日曜

特選

空そのものは動かずとも強風に揺れる
木々の向こうに見え隠れするさまがダイナ
ミックに想起されてとても良いと思いまし
た。
(光則)

並選

枝のフレームで切り取られた空から感じ
る青嵐の勢いはすごいんだろうなあ (日曜)

扉閉め静寂を呼ぶ青嵐 トホ

特選 子牛
並選 熊猫山

特選

きれいに決まっている☒ (子牛)

並選

うるさい青嵐が静寂を連れてくるとい
うのが面白い、確かに。
(熊猫山)

胸中の鬼目醒めをり青嵐 鮭航太

並選 トホ・井沢軽・子牛
予選 光則

並選

何か企みがはっきりとする瞬間、わくわく
します (トホ)

悶々と抱えていた悩みが、風がトリガー
になって怒りに転換した。その怒りどうし
たんだろう。
(井沢軽)

わあ、攻撃型5月病？ 単語に涙みがあり
ますね。
(子牛)

予選

不穏すぎて草 (光則)

蠅1匹ガラスに当たる音のする 惑星

並選 鮭航太・夜桃・一天
予選 日曜

並選

蠅が物に当たる音は独特な軽さがある。
1回だけ当たるのではなく、何回も当たる
のが蠅らしいと思う。

蛍光管に当たる蠅の句を僕も作ろうと
思ったが、上手く出来なかった。これくら
いシンプルでいいのだな。
(鮭航太)

ガラスの透明感とハエの不気味さの対比
が容赦ない現実味をいちばんシンプルに抽
出したみたいでよい。作者は「ガラスの中」
⇨室内に居るのか？ コロナ禍のソーシャ
ルディスタンス彷彿とさせるところもよい。
(夜桃)

ふしぎな感覚を感じます。耳をすまざな
くとも聞こえる音なんでしょうか。 (一天)

子らの傘おちよこはしゃぐや青嵐

子牛

特選 熊猫山

並選 夜桃
予選 日曜・井沢軽

特選

強風で傘がひっくり返しになり、子供達のはしゃいでいる姿が目に見え、気持ちが悪くなる。
(熊猫山)

並選

デザイン性のあるアクリル画みたいな雰囲気。さらに「おちよこはしゃぐ」のひらがなそのものに、子ども達を可愛らしいなと思いつつ見ている作者自身の気持ちが出ていて伝わってくる。
(夜桃)

予選

この場合のおちよこって言葉を知らなかったので調べた。かわいいうち。おちよこに傘のニュアンスがあるので傘という単語はなくてもいいかも。
(井沢軽)

青嵐自転車を漕ぐ膝小僧 トホ

特選 日曜
並選 一天

特選

詠んでて気持ちいい 強風に負けず元気に漕ぐ情景があまりと目に浮かびます。

漕いでるのは小学生、それとも大人の女の、どちらも浮かびます
(日曜)

並選

こんなときでも自転車。頑張れ膝小僧！
(一天)

2点句

複眼に映して僕の蠅笑う 井沢軽

並選 鮭航太・子牛
予選 光則

並選

僕をじゃなくて「僕の蠅」というのが面白い。
僕の蠅は何を笑っているのだろう？ 二人で仲良く戯れているのかな。蠅友達。そもそも作者は蠅なのかもしれない。二匹の蠅物語
(鮭航太)

もうずっと同居？ 僕の、というのがオシヤレに響きます。
(子牛)

予選

僕の蠅、って面白いですね
(光則)

助手席にエビアンみつつ放り込み ナッツ

並選 夜桃・熊猫山
予選 日曜

並選

季語がない？ 無季語の句を選ぶのは初めてかも。適当に思いついた句に見えていくけど「みつつ」がひらがなになっていたりして、丁寧に作られているかんじが良い。個人的になんとなく90%。感があって好きかな。
(夜桃)

エビアン3つは真夏ですね！
(熊猫山)

青嵐皆が黙つてゐる時間 鮭航太

特選 井沢軽

特選

世界が止まったかのような一瞬、黒板にチョークを書く先生、近所の猫、泣いている赤ちゃんなどなど。初夏の瞬間のイメージが膨らみました。
(井沢軽)

待合に灰皿と蠅用意され 惑星

並選 夜桃・ナッツ
予選 日曜・光則

並選

いわゆる「密室もの」が見事に俳句に。ホワイトキューブのなか、というよりさらにそのギャラリーのなかにキューブがあるダミアンハーストみたいな作品。でもその中に一緒に人間（作者）も居るため、21の「蠅1匹ガラスに当たる音のする」みたいな冷たいソーシャルディスタンス感はなく、妙に人間味がある。

（夜桃）

ずおーん。灰皿と蠅とゆう最悪の組み合わせ。壁の色が目には浮かんた。はやく用事をすまして帰ろう。

（ナッツ）

独り来て独り去りたる蠅の町 井沢軽

並選 トホ・光則

予選 ナッツ

並選

入退居をくりかえす、都会大きなマンションをイメージしました。シニカルでいいです

（トホ）

蠅の町、にはどこか具体的な対象があるのでしょうけどなかなか酷い言い様ですね（良い意味で）。

（光則）

青嵐被爆の森の葉擦れかな 鮭航太

特選 一天

特選

せつないですね。音を聞けば何の汚れもないのに……。

（一天）

1点句

対岸に絡まる糸や青嵐

光則

並選 鮭航太

予選 井沢軽

並選

景色がよく見える。川にある絡まった糸の後ろの木々が揺れている。一人で見ている景色のような気がする。

（鮭航太）

予選

ストレートで気持ちいい散歩の風景。

（井沢軽）

意味もない目的もない蠅の朝 鮭航太

並選 子牛

並選

本当にそうなの？ と暫し蠅生を考えてしまいましたから。

（子牛）

青嵐のなか縄跳びの少女たち 一天

並選 井沢軽

並選

少女という存在の永遠性、神秘性が出てくる。季語とよく合ってる。時よ止まれ！少女礼讃。

（井沢軽）

フランスの娘の声や青嵐 光則

並選 ナッツ

予選 熊猫山

並選

なんか爽やか。生意気シャルロット的な感じとピクニックアットハンギンロック的な儂い青嵐。

（ナッツ）

予選

フランス娘の声が若々しく力強い感じなのかな？

（熊猫山）

よの猫の眠り奪いて青嵐 熊猫山

並選 日曜
予選 井沢軽・光則

並選

でもまたすぐ目を閉じて眠りにつくんだ
ろう、きつと。やさしい青嵐 (日曜)

予選

猫かわいがりすぎでしょ。(井沢軽)

荒天の夜にはいつも野良猫が心配になり
ます。(光則)

きんいろになる身体ふたつ五月闇

夜桃

並選 ナッツ
予選 井沢軽

並選

五月闇にかぶのは、ライオン？ 猫ちゃ
ん？ 人間？

どれにしても気持ちの良い闇には違
ない。

昨日ファンタスティックプラネットを
初めて観たんです。それもうかびました。

(ナッツ)

予選

こやつら、まぐわって光を発しとるの
じゃ。(井沢軽)

翼持つ少女か肩に蠅とまる 一天

並選 ナッツ
予選 光則

並選

蠅にやさしい。

何でそんなに蠅に優しい、ブツダのような
気持ちになったのか知りたい！ (ナッツ)

予選

蠅を少女に例えるの初めて見ました。

(光則)

ばふうんと部屋貫通す青嵐 茜

並選 日曜

並選

同じ切り口で一句読みましたが、こっちの
オノマトペの方がいい！ やられた〜 (日曜)

アデダスのキャップぶっ飛ぶ青嵐 茜

並選 鮭航太
予選 日曜・井沢軽

並選

あるねー。アディダスじゃなくて、アデダ
スなんだな。そこに年齢を感じる。主人公
は少年じゃなくて、中高年だね。そう思う
と少し恥ずかしいシーンですね。「あっ！」
とか声に出ちゃってね。(鮭航太)

予選

「アデダス」の一言で、そこはかと漂う
おっさん臭が良い。絶対ええ顔系。この後
の慌てているおっさんは可愛いはず。おっ
さんの可愛いは突然現れる。(井沢軽)

頬はじく青嵐ありふりかへる ナッツ

並選 光則

並選

少年誌連載漫画のひとコマのように明る
い希望に満ちた主人公の心持ちがありあり
と描写されていてとても良いと思いました。

(光則)

蠅とりて舌舐めずるも愛おしき

熊猫山

並選 鮭航太

並選

トカゲとか蛇のことだろう。

昔から爬虫類好きな人をなぜか尊敬している。
(鮭航太)

大口を開けて通すよ青嵐 ナッツ

並選 トホ

並選

扇風機みたいに、口に風を入れてるのか
なあ、なんとも大らかな匂が良いです(トホ)

0点句

さんだるに雹がはさまる素足かな

ナッツ

蠅含む同居人だわ認めます 茜

気をつける蠅の行く手のハイカ
リー 子牛

青嵐に水浸しなり渡し舟 光則

青あらし長いスカートはためかせ トホ

予選 日曜

さみだれをあつめて緊急事態とす

夜桃

予選 ナッツ

猫の目を見る梅の実のより蒼し

熊猫山

予選 日曜・光則

ひばり墜落青嵐吹ける麦畑へと 一天

青嵐白くかがやき九段下 日曜

羽音ごと捕まえたるか蠅兄さん 茜

予選 夜桃

予選

作者がひとりハエを相手に「仁義なき戦い」みたいな凄みのあるセリフを練習しているんだな、という情け無く哀しいかんじが良い
(夜桃)

青嵐物干し竿の離れをり 井沢軽

青嵐の憧れの君散逸す 子牛

踊る蠅あっちこちとUターン トホ

予選 日曜

もう決めたこの蠅をステルスとよぶ ナッツ

透明な箱ざりがにの声は無い 夜桃

予選 ナッツ

隙間からカサゴを見よや青嵐 光則

窓辺からバムツと青嵐訪問す 日曜

青嵐にタングステンの重さかな 光則

青嵐に波立っている麦秋畑 一天

愛猫の打ち水よけて行く先に 熊猫山

胸に立つバレリーナ抱く青あらし

夜桃

首かしげ見える浮世の蠅目線 茜

逗子のみち集まる砂に青あらし

井沢軽

蠅の音子供の耳に入り込む 惑星

予選 日曜・ナッツ

せわしなく動く蠅の手眺めつつ 日曜

予選 鮭航太

予選

蠅の動きってコマ送りみたいでいいんだ
よな。
(鮭航太)

青嵐連れる微かにあまい香 日曜

ざりがにに垂らした罪の軽さかな

夜桃

予選 熊猫山

予選

贖罪の句ですな。

ザリガニを獲る事ではなく、垂らした糸の
先に付いている餌についての罪かしら？カ
エルの足とか、昆虫とか？
(熊猫山)

蠅とまり朝の食卓慌ただし 日曜

予選 鮭航太

予選

慌ただしくしている人間の営みってなん
なんででしょうか？
(鮭航太)

いやだよまさか蠅と間接キッス 子牛

青嵐や直立の樹に立ちあがる水 一天

引き倒す葉の裏に虫青嵐 惑星

総評

今回の季題は音を意識させる句が多かつたような。前回に引き続き Zoom でのみんなの講評が楽しみです。やっぱりみんなでガヤガヤ解釈を話すと発見があり、とても楽しい。

高浜虚子が「選は創作なり」と言ったのもよくわかる。選句にそれぞれのセンスが作句以上に出ることがある、
(鮭航太)

面白い季語でした。気になった句、全部にコメントしてみた。鑑賞力を養いたいです。
(井沢軽)

蠅、やだなあーとお題をみて思った。蠅のこと考えるのやだなあと。でも、皆さんがよんだ蠅の句、やさしいのやカッコいいのがあるさすがと思いました。
(ナッツ)

詠みやすい季題だと感じました。皆さんいきいきのびのびと詠んでる印象
(日曜)